



株式会社 **エー・エー・エー**

2009年3月期 決算説明会資料

2009年5月19日開催

東証2部 2394

# 目次

1.	決算ハイライト	P. 2
2.	連結損益計算書の分析	P. 4
3.	業界の動向	P. 9
4.	出品台数の推移	P. 12
5.	成約率の推移	P. 13
6.	業績予想との対比	P. 14
7.	次期の見通し	P. 15
8.	中長期的な経営戦略	P. 17
9.	直近の取り組み	P. 18
10.	その他	P. 22
	質疑応答	

# 1. 決算ハイライト①(連結損益計算書)

のれん償却がなくなり、大幅増益で過去最高益を達成

(単位:百万円)

	2008/3期	2009/3期	前期比増減	前期比
売上高	9,793	9,226	△567	△5.8 %
売上総利益	5,525	5,179	△345	△6.3 %
営業利益	1,001	1,848	+847	+84.6 %
経常利益	1,115	1,894	+779	+69.8 %
税金等調整前当期純利益	1,112	2,257	+1,144	+102.9 %
当期純利益	683	1,276	+592	+86.6 %
売上高営業利益率	10.2 %	20.0 %	+9.8 pts	—

売上高 : オークション手数料収入は前期比△466百万円、ネットワークオークション関連収入は△44百万円、その他オークション関連収入は△56百万円と、それぞれ減少し、売上高は△567百万円の減収となる。

営業利益 : 減価償却費(原価)及びリース料 △107百万円、情報通信費△46百万円、業務委託費△36百万円、保守管理費(原価)△22百万円等により、売上原価△221百万円。  
減価償却費(販管)+61百万円の一方、子会社HAA神戸におけるのれん償却△1,285百万円等により販売費及び一般管理費が△1,192百万円となり、営業利益+847百万円。

経常利益 : 営業外収益△181百万円(不動産賃貸収入△124百万円、受取配当金△21百万円)、営業外費用△113百万円(不動産賃貸費用△95百万円、支払利息△36百万円)により、経常利益+779百万円。

特別利益 : オークネット株式の売却により、投資有価証券売却益456百万円。

特別損失 : 貸倒引当金繰入48百万円、固定資産除却損45百万円。

# 1. 決算ハイライト②(連結CF計算書)

引続き、堅調に営業キャッシュ・フローを獲得

(単位:百万円)

	2008/3期	2009/3期	前期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,191	2,249	△942
投資活動によるキャッシュ・フロー	807	631	△175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,644	△3,127	+516
現金及び現金同等物の期末残高	585	338	△246

・ 営業活動によるキャッシュ・フロー

(内訳): 税金等調整前当期純利益2,257百万円、減価償却費840百万円、オークション勘定747百万円、法人税等△1,111百万円、投資有価証券売却益△456百万円

(前期比): 税金等調整前当期純利益+1,144百万円、オークション勘定+398百万円、のれん償却△1,285百万円、法人税等△819百万円、投資有価証券売却益△456百万円

・ 投資活動によるキャッシュ・フロー

(内訳): 投資有価証券の売却による収入1,117百万円、有形・無形固定資産の取得による支出△405百万円

(前期比): 投資有価証券の売却による収入増+1,117百万円、有形・無形固定資産の取得による支出減+186百万円、有形固定資産の売却による収入減△1,448百万円

・ 財務活動によるキャッシュ・フロー

(内訳): 長期借入金の返済による支出△1,750百万円、短期借入金純増減額△618百万円、自己株式取得による支出△392百万円、配当金支払額△367百万円

(長期・短期借入金の推移)

(単位:百万円)

2003/3末	2004/3末	2005/3末	2006/3末	2007/3末	2008/3末	2009/3末 (前期末比)
18,807	11,680	9,279	9,446	7,670	4,225	1,857 (△2,368)

※ 長期借入金残高(1年以内含む): 2009/3末 1,312百万円(実績)、2010/3末 完済予定

## 2. 連結損益計算書の分析①(種類別売上高)

出品台数の減少、成約率の低下によりオークション手数料収入が減少

(種類別売上高)

(単位:百万円)

	2008/3期	2009/3期	前期比増減	前期比
出品料	3,231	3,126	△104	△3.2 %
出品成約料	2,584	2,407	△176	△6.8 %
落札料	3,010	2,825	△185	△6.2 %
オークション手数料収入 計	8,826	8,360	△466	△5.3 %
ネットワークオークション関連収入	553	508	△44	△8.1 %
その他オークション関連収入	413	356	△56	△13.6 %
合計	9,793	9,226	△567	△5.8 %

・オークション手数料収入△466百万円の分析:

- ① 出品台数△12,004台により、△151百万円。  
 ② 成約率△3.0ptsにより、△315百万円。

- ・出品料 △104百万円 : 出品台数△12,004台により△55百万円、1台当たり出品料△71円により△49百万円
- ・出品成約料 △176百万円 : 成約台数△26,823台により△189百万円、1台当たり出品成約料+40円により+13百万円
- ・落札料 △185百万円 : 成約台数△26,823台により△221百万円、1台当たり落札料+107円により+35百万円
- ・ネットワークオークション関連収入は、衛星系システムから地上系システムへの移行期にあり、衛星系システム関連収入が△78百万円、地上系システム関連収入が+38百万円となり、△44百万円の508百万円となった。
- ・その他オークション関連収入は、ファイナンス手数料△17百万円、在宅応札手数料△10百万円等により、△56百万円の356百万円となった。

## 2. 連結損益計算書の分析②( 会員数・取扱台数・手数料収入)

### (登録会員数)

	2008/3期	2009/3期	前期比増減	前期比
現車オークション登録会員数	14,691	15,087	+396	+2.7 %
ネットワークオークション登録会員数	5,568	5,850	+282	+5.1 %
(うち、直接応札可能会員数)	1,761	1,651	△110	△6.2 %

### (取扱台数)

開催回数	149 回	149 回	±0 回	±0.0 %
出品台数	699,848 台	687,844 台	△12,004 台	△1.7 %
成約台数	364,996 台	338,173 台	△26,823 台	△7.3 %
成約率	52.2 %	49.2 %	△3.0 pts	—

### (1台当たりオークション手数料収入)

	2008/3期	2009/3期	前期比増減	前期比
1台当たり出品料 (円)	4,617 円	4,546 円	△71 円	△1.5 %
1台当たり出品成約料 (円)	7,080 円	7,120 円	+40 円	+0.6 %
1台当たり落札料 (円)	8,248 円	8,355 円	+107 円	+1.3 %
出品1台当たり受取手数料 (円)	12,612 円	12,154 円	△458 円	△3.6 %

※ 出品1台当たり受取手数料△458円の分析:

- ① 1台当たり出品料の低下により△71円
- ② 1台当たり出品成約料の上昇により+19円
- ③ 1台当たり落札料の上昇により+52円
- ④ 成約率△3.0ptsによる影響が△458円

## 2. 連結損益計算書の分析③(会場別売上高)

(会場別売上高) 出品台数の減少、成約率の低下により各会場とも減収 (単位:百万円)

	2008/3期	2009/3期	前期比増減	前期比
葛西会場	2,798	2,637	△160	△5.7%
つくば会場	675	608	△67	△9.9%
HAA神戸会場	5,627	5,345	△282	△5.0%
ネットワークオークション	690	634	△56	△8.2%
合 計	9,793	9,226	△567	△5.8%

- 葛西会場 :

1開催平均の出品台数が前期比△247台の3,435台と減少したため、出品台数は△5,224台の175,195台。  
また、成約率も△5.1ptsの49.3%と低下し、売上高は前期比△160百万円。
- つくば会場 :

1開催平均の出品台数が前期比+29台の1,445台と増加したが、開催回数が1開催少なく、出品台数は△23台の70,790台。  
一方、成約率が△7.4ptsの41.9%と低下し、売上高は前期比△67百万円。
- HAA神戸会場 :

1開催平均の出品台数が前期比+46台の9,018台と増加したが、開催回数が1開催少なく、出品台数は△6,757台の441,859台。  
また、成約率が△1.4ptsの50.3%と低下し、売上高は前期比△282百万円。
- ネットワークオークション :

衛星系システムから地上系システムへの移行期にあり、システム使用料収入が前期比△44百万円となり、  
また、提携会場を含む各会場の総成約台数減少にともなうネットワーク落札台数の減少等により、在宅応札手数料が  
△10百万円となり、売上高は前期比△56百万円。

## 2. 連結損益計算書の分析④(会場別取扱台数)

(会場別取扱台数)

	項 目	2008/3期	2009/3期	前期比増減	前期比
葛西会場	開催回数	49 回	51 回	+2 回	+4.1%
	出品台数	180,419 台	175,195 台	△5,224 台	△2.9 %
	成約台数	98,235 台	86,444 台	△11,791 台	△12.0 %
	成約率	54.4 %	49.3 %	△5.1 pts	—
つくば会場	開催回数	50 回	49 回	△1 回	△2.0 %
	出品台数	70,813 台	70,790 台	△23 台	△0.0 %
	成約台数	34,937 台	29,656 台	△5,281 台	△15.1 %
	成約率	49.3 %	41.9 %	△7.4 pts	—
HAA神戸会場	開催回数	50 回	49 回	△1 回	△2.0 %
	出品台数	448,616 台	441,859 台	△6,757 台	△1.5 %
	成約台数	231,824 台	222,073 台	△9,751 台	△4.2 %
	成約率	51.7 %	50.3 %	△1.4 pts	—
合 計	開催回数	149 回	149 回	±0 回	±0.0 %
	出品台数	699,848 台	687,844 台	△12,004 台	△1.7 %
	成約台数	364,996 台	338,173 台	△26,823 台	△7.3 %
	成約率	52.2 %	49.2 %	△3.0 pts	—



## 2. 連結損益計算書の分析⑤(売上原価・販管費)

(売上原価・販売費及び一般管理費)

(単位:百万円)

	2008/3期	2009/3期	前期比増減	前期比
売上原価	4,267	4,046	△221	△5.2%
(うち、減価償却費・リース料)	(836)	(729)	(△107)	(△12.8%)
販売費及び一般管理費	4,523	3,331	△1,192	△26.4%
販売費	607	641	+33	+5.5%
人件費	1,773	1,783	+10	+0.6%
一般管理費	2,142	906	△1,236	△57.7%
売上原価・販管費合計	8,791	7,377	△1,414	△16.1%

(売上原価) 減価償却費(原価)等の減少要因により、前期比△221百万円。

- (減少要因) 減価償却費(原価)△61百万円 … 立体駐車場、6レーンオークションシステム他逡減。  
 リース料△45百万円 … HAA神戸会場設備等リース満了。  
 情報通信費△46百万円 … 提携ネットワークオークション関連費用の減少。  
 業務委託費△36百万円 … 出品台数減による構内作業費、委託検査費の減少。  
 保守管理費(原価)△22百万円 … 衛星系システム保守料の減少等。

(販売費及び一般管理費)

連結子会社におけるのれん償却が2007年12月に完了した影響が大きく、前期比△1,192百万円と大幅減。

- (増加要因) 減価償却費(販管費)+61百万円 … オークション業務管理システムリニューアル等。  
 販売促進費+42百万円 … 下期において急激に増加したリース買取車の売却損等。  
 (減少要因) のれん償却△1,285百万円 … 2003年1月から2007年12月まで、毎四半期428百万円計上していた。  
 2008年1月以降負担が無くなり、大幅な増益要因となる。

### 3. 業界の動向①

新車登録台数、中古車登録台数は引続き前期を下回る

全国のオークション総出品台数は△0.8%、総成約台数は△9.9%

	2009/3期	前期比増減	前期比	2年前比	3年前比
新車登録台数（台）	4,700,778	△618,842	△11.6%	△16.3%	△19.8%
中古車登録台数（台）	7,103,983	△308,967	△4.2%	△9.9%	△13.8%
全国オークション会場総出品台数（台）	8,435,731	△68,068	△0.8%	△0.2%	+3.8%
全国オークション会場総成約台数（台）	4,267,363	△470,735	△9.9%	△5.6%	+0.4%

出所：（社）日本自動車販売協会連合会、（社）全国軽自動車協会連合会、月刊ユーストカー、USS社開示資料

自動車解体台数、中古車輸出台数はともに減少するも、新車登録台数を上回り、自動車保有台数は微減が続く

	2009/3期	前期比増減	前期比
自動車解体台数(引取工程)（千台）	3,581	△128	△3.5%
中古車輸出台数（千台）	1,141	△230	△16.8%

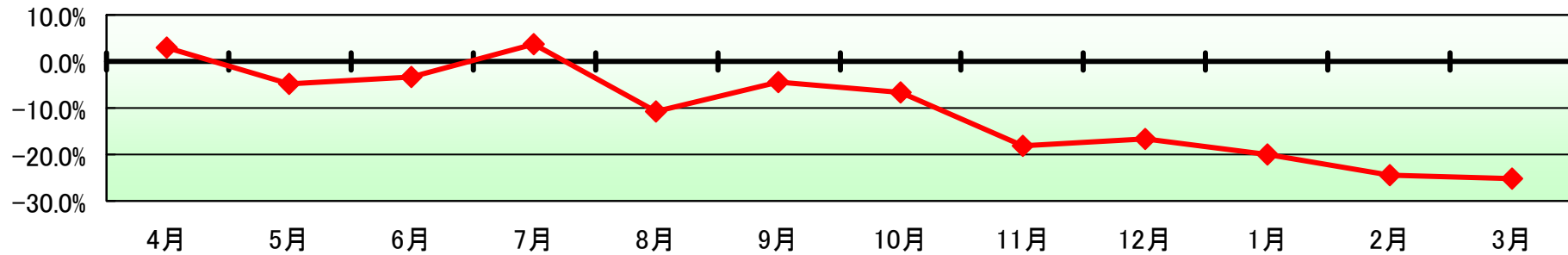
出所：（財）自動車リサイクル促進センター、財務省通関統計

	2009/2末	2008/2末	増減
自動車保有台数(二輪除く)（千台）	75,720	75,942	△222

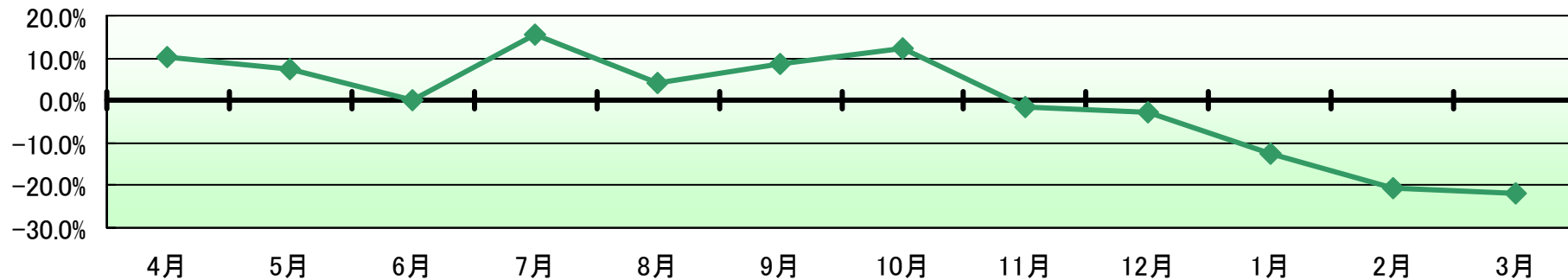
出所：国土交通省

### 3. 業界の動向②

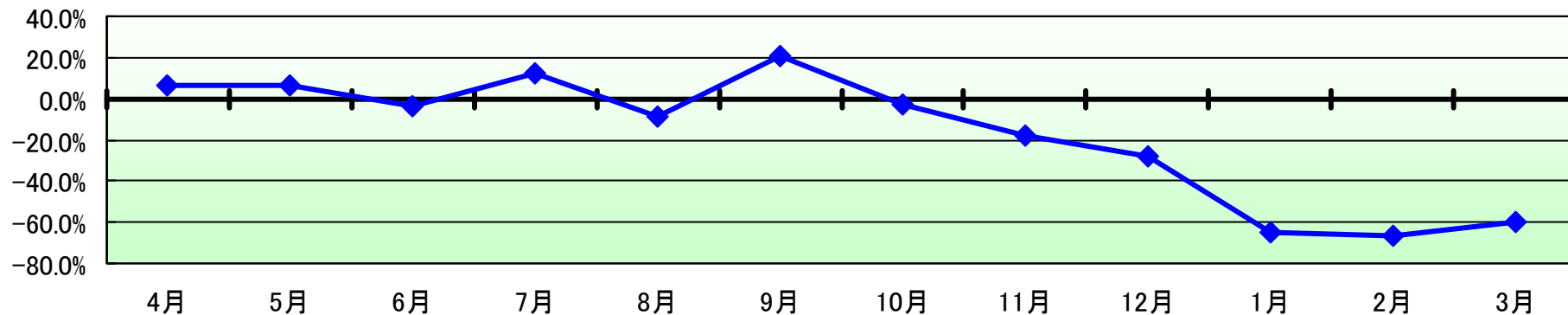
新車登録台数の推移(2009/3期・前年同月比)



全国オークション会場総出品台数の推移(2009/3期・前年同月比)



中古車輸出台数の推移(2009/3期・前年同月比)



### 3. 業界の動向③

#### 企業別出品台数 上位6社

(単位:台)

順位	会社名	会場数	2009/3期	シェア	上期前期比	下期前期比	通期前期比
1	(株)ユー・エス・エス	18	2,902,636	34.4%	+9.4%	△9.7%	△0.6%
2	(株)トヨタユーゼック	9	720,634	8.5%	+12.5%	△7.2%	+2.0%
3	当社	3	687,844	8.2%	+2.7%	△5.8%	△1.7%
4	(株)シーエーエー	4	512,731	6.1%	+11.5%	△9.6%	+0.3%
5	荒井商事(株)	3	379,721	4.5%	+7.1%	△21.5%	△8.5%
6	(株)エル・エー・エー	3	286,747	3.4%	△0.1%	△12.9%	△6.4%
	その他	—	2,945,418	34.9%	+7.2%	△6.6%	+0.0%
	合計		8,435,731		+8.0%	△8.8%	△0.8%

#### 会場別出品台数 上位5会場

(単位:台)

順位	会場名	地域	2009/3期	上期前期比	下期前期比	通期前期比
1	USS東京会場	関東	724,036	+9.2%	△9.4%	△0.5%
2	HAA神戸会場	近畿	441,859	+0.0%	△2.9%	△1.5%
3	USS名古屋会場	中部	356,034	+6.9%	△14.1%	△4.2%
4	USS横浜会場	関東	262,460	+8.5%	△15.8%	△4.8%
5	CAA中部会場	中部	251,943	+6.1%	△12.4%	△3.7%
	その他	—	6,399,399	+8.5%	△8.4%	△0.3%
	合計		8,435,731	+8.0%	△8.8%	△0.8%
	葛西会場	関東	175,195	+11.4%	△15.5%	△2.9%
	つくば会場	関東	70,790	△1.4%	+1.3%	△0.0%

出所 : 月刊ユーストカー、USS社開示資料

## 4. 出品台数の推移

上期は概ね前年同期比プラスで推移したが、下期は景気後退の影響を受け減少に転ずる

### 葛西会場

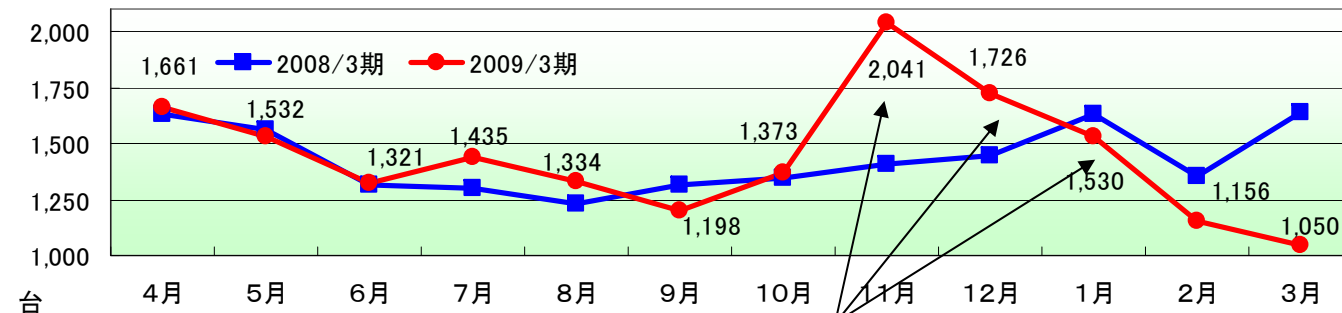
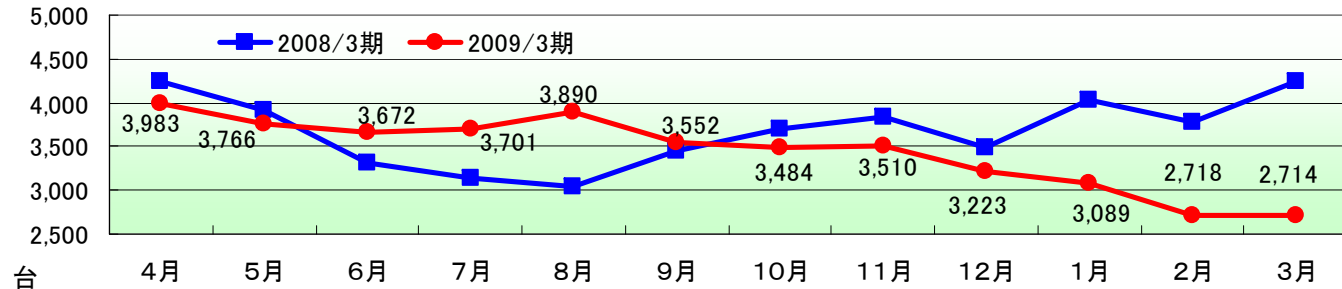
上期の1開催平均出品台数は前年同期比+244台(+6.9%)の3,762台。10月以降減少に転じ、下期は△718台(△18.7%)の3,121台。

### つくば会場

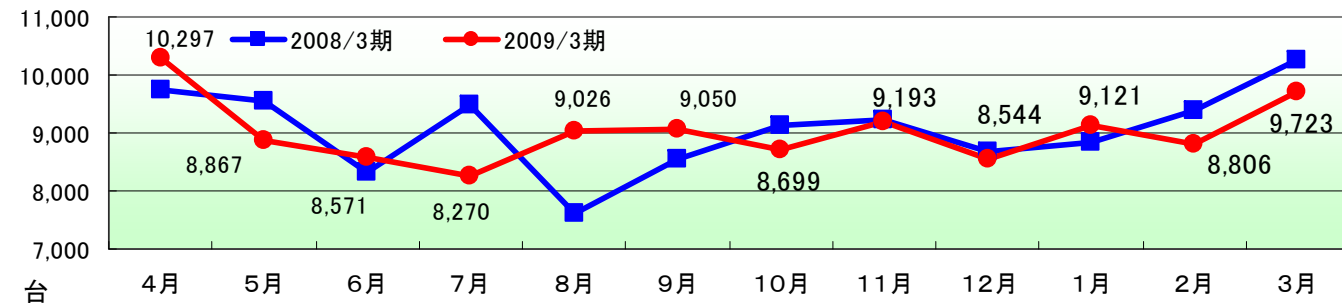
上期の1開催平均出品台数は前年同期比+37台(+2.7%)の1,413台。下期はリユース買取車の自社出品が膨らみ、+19台(+1.3%)の1,475台となったが、当要因を除くと、下期は△342台(△24.1%)の1,080台。

### HAA神戸会場

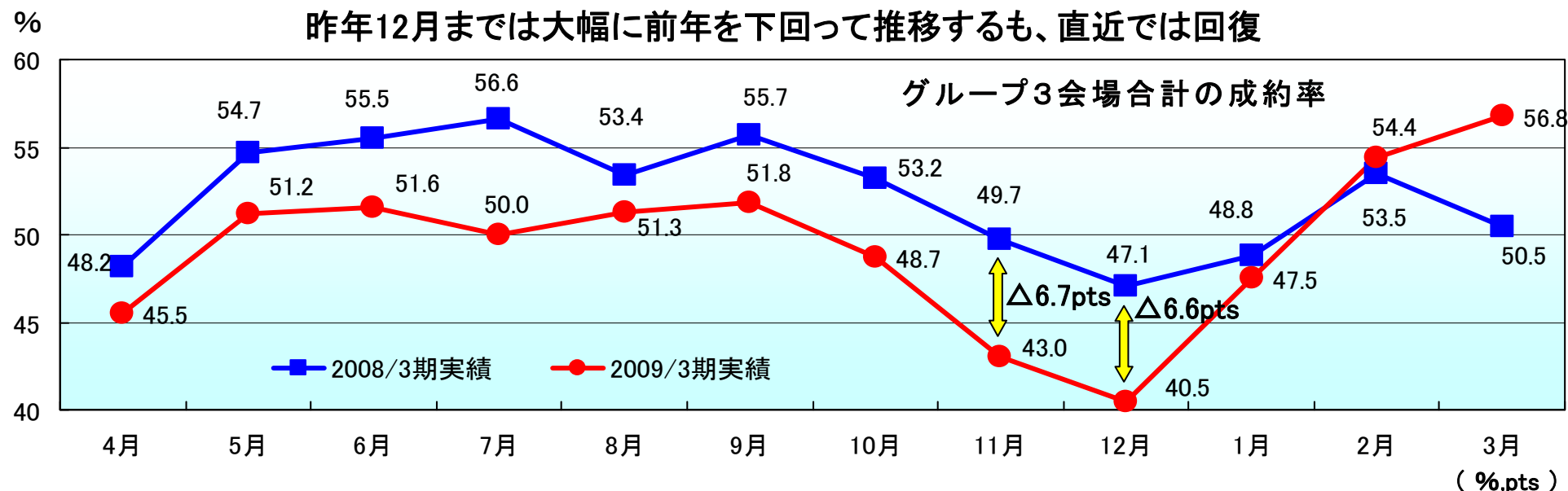
上期の1開催平均出品台数は前年同期比+363台(+4.2%)の9,014台。下期は△273台(△2.9%)の9,021台と前年同期をやや下回って推移。



「リユース買取車の自社出品(11月981台/回、12月788台/回、1月408台/回)」が膨らむ



## 5. 成約率の推移



会場別 成約率	1Q(4-6月)		2Q(7-9月)		3Q(10-12月)		4Q(1-3月)		通期(累計)	
	09/3期	前期比	09/3期	前期比	09/3期	前期比	09/3期	前期比	09/3期	前期比
葛西	47.4	△8.1	49.7	△10.2	45.9	△5.3	55.7	+3.4	49.3	△5.1
つくば	46.6	△3.5	48.4	△2.5	33.6	△13.0	41.5	△8.4	41.9	△7.4
HAA神戸	50.4	△1.5	52.0	△2.3	45.4	△4.8	53.5	+3.0	50.3	△1.4
3会場合計	49.2	△3.4	51.0	△4.3	44.1	△6.0	52.9	+2.0	49.2	△3.0

- ・ 葛西会場は、1Q～3Qでは前期比△7.5ptsの47.7%と低調だったものの、4Qでは前期比+3.4ptsの55.7%に回復。
- ・ つくば会場は、3Q、4Qにおいてリユース車買取による自社出品の増加が影響し、成約率が大幅に低下。当要因を除くと、3Q 43.6%、4Q 41.9%、通期で44.8%。
- ・ HAA神戸会場は、出品店構成比の変化もあり、上期で前期比△1.9ptsの下げにとどまるも、3Qは△4.8ptsの45.4%まで低下。4Qでは前期比+3.0ptsの53.5%に回復。

## 6. 業績予想との対比

成約率の低下、出品台数の減少を主要因として、営業利益は△17.6%の1,848百万円となる

(業績予想対比)

(単位:百万円)

	業績予想			実績	実績、7/10修正対比	
	2008/5/12公表	2008/7/10修正	2009/4/23修正		増減額	増減率
売上高	10,019	10,019	9,226	9,226	△793	△7.9%
営業利益	2,244	2,244	1,848	1,848	△395	△17.6%
経常利益	2,316	2,292	1,894	1,894	△398	△17.4%
当期純利益	1,232	1,472	1,276	1,276	△196	△13.4%
1株当たり配当金	4,500円	4,500円	4,500円	4,500円	±0円	±0.0%

(取扱台数前提対比)

	2008/5/12公表 前提	実績	増減率
出品台数	710,913台	687,844台	△3.2%
成約台数	376,336台	338,173台	△10.1%
成約率	52.9%	49.2%	△3.7pts
出品1台当たり受取手数料	12,907円	12,154円	△5.8%

売上高△793百万円 : 出品台数△3.2%で△297百万円、成約率△3.7ptsで△400百万円等

売上原価△245百万円 : 構内作業費・委託検査費△48百万円、提携ネットワークオークション関連情報通信費△47百万円等

販管費△152百万円 : 人件費△25百万円、書類発送費等△15百万円等

## 7. 次期の見通し①

景気後退の影響を受け、売上高が減少。全社的にコストの見直しを図る。  
(単位:百万円)

	2009/3期 実績	2010/3期 計画	前期比増減	前期比
売上高	9,226	8,406	△820	△8.9%
営業利益	1,848	1,500	△348	△18.8%
経常利益	1,894	1,540	△353	△18.7%
当期純利益	1,276	809	△467	△36.6%
売上高営業利益率	20.0%	17.9%	△2.1%	—
減価償却費(原価、販管費)	837	672	△165	△19.8%

- ・ 売上高△820百万円 : オークション手数料収入は△603百万円  
(出品台数△54,319台により△660百万円、成約率+0.7ptsにより+71百万円)。  
ネットワークオークション関連収入は、衛星系システムから地上系システムへの移行期のため、  
△224百万円を見込む。
- ・ 売上原価△370百万円 : 減価償却費(原価) △163百万円、衛星系システム終了等により情報通信費△90百万円、  
出品車両置場の賃借料△71百万円、構内作業費・委託検査費等の業務委託費△54百万円、  
検査員人件費△13百万円を見込む。
- ・ 販管費△101百万円 : 販売費+21百万円、人件費△121百万円、一般管理費△1百万円を見込む。
- ・ 衛星系から地上系へのネットワークオークションシステムの移行を想定し、特別損失44百万円を見込む。

( 固定的なコストの削減項目)

- ① 派遣社員、パート社員削減等△141百万円、
- ② 出品車両置場の見直しにより賃借料△83百万円、
- ③ その他、業務委託費、保守料、保険料等、固定的なコストを中心に全社的に見直し、総額258百万円削減。



## 7. 次期の見通し②

中古車流通台数減少のなか、3会場とも出品台数の前期割れを見込む

( 取扱台数計画 )

	2009/3期実績	2010/3期計画	前期比増減	前期比
オークション開催回数	149 回	148 回	△1 回	△0.7 %
出品台数	687,844 台	633,525 台	△54,319 台	△7.9 %
成約台数	338,173 台	316,105 台	△22,068 台	△6.5 %
成約率	49.2 %	49.9 %	+0.7 pts	—
出品1台当たり受取手数料	12,154 円	12,244 円	+90 円	+0.7 %

( 会場別出品台数計画 ) (2010/3期計画)

	上期	上期前期比	下期	下期前期比	通期	通期前期比
葛西会場	76,091 台	△19.1%	77,884 台	△4.0%	153,975 台	△12.1%
つくば会場	27,130 台	△20.0%	31,020 台	△15.9%	58,150 台	△17.9%
HAA神戸会場	204,000 台	△5.7%	217,400 台	△3.6%	421,400 台	△4.6%
合計	307,221 台	△10.8%	326,304 台	△5.0%	633,525 台	△7.9%

## 8. 中長期的な経営戦略



### 中長期的な経営戦略の柱

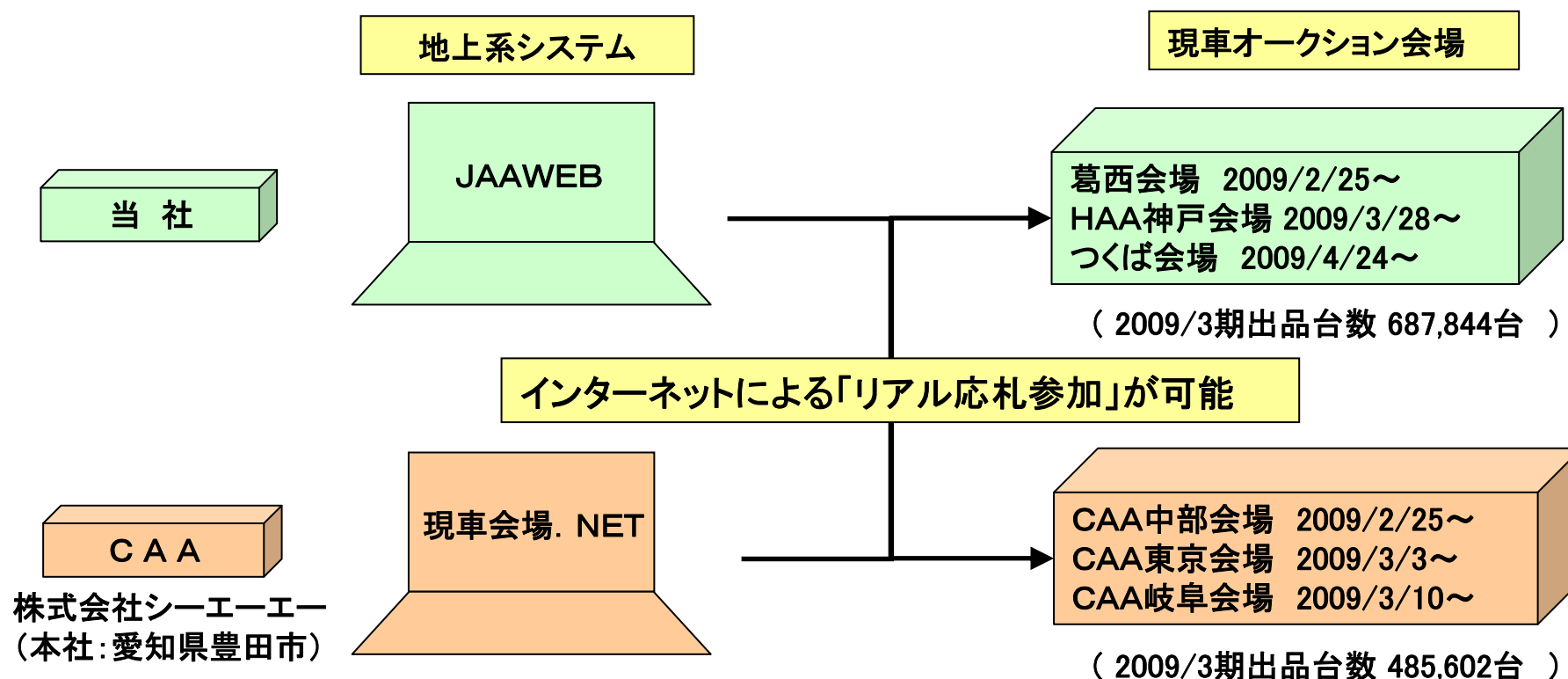
1. 現車オークション会場3会場(葛西会場、つくば会場、HAA神戸会場)の強化
2. ネットワークオークション分野の強化
3. 中古車オークション関連サービスの拡充

## 9. 直近の取り組み①

### ネットワークオークションの拡大(CAAとの業務提携強化)

2009年2月～

株式会社シーエーエーとの業務提携を強化、インターネットによるリアル相互接続を順次開始



※「現車会場. NET」は、株式会社シグマネットワークス(CAAの100%子会社)が運営。

出品台数: 月刊ユーストカー調べ

## 9. 直近の取り組み②

### WEBリアル、「ゴールド」契約コースの開始を予定

2009年6月中旬～

業務提携を進め、「WEBリアル」の接続会場数を大幅に増加、「ゴールド」契約コースの開始を予定

(現行) 「レギュラー」、「シルバー」(計8会場、全国総出品台数シェア17.2%に応札可能)

(当社3会場) 葛西、つくば、HAA神戸

(提携先5会場) オークネットTVAA※、  
CAA中部(2009/2～)、CAA岐阜(2009/3～)、CAA東京(2009/3～)、  
ハナテン大阪(2009/3～)

※ オークネットTVAAについては、「シルバー」にて参加可能

(新設予定) 「ゴールド」(「レギュラー」、「シルバー」を含め、計35会場、全国総出品台数シェア39.4%に応札可能)

(提携先27会場) (本資料作成日における予定)

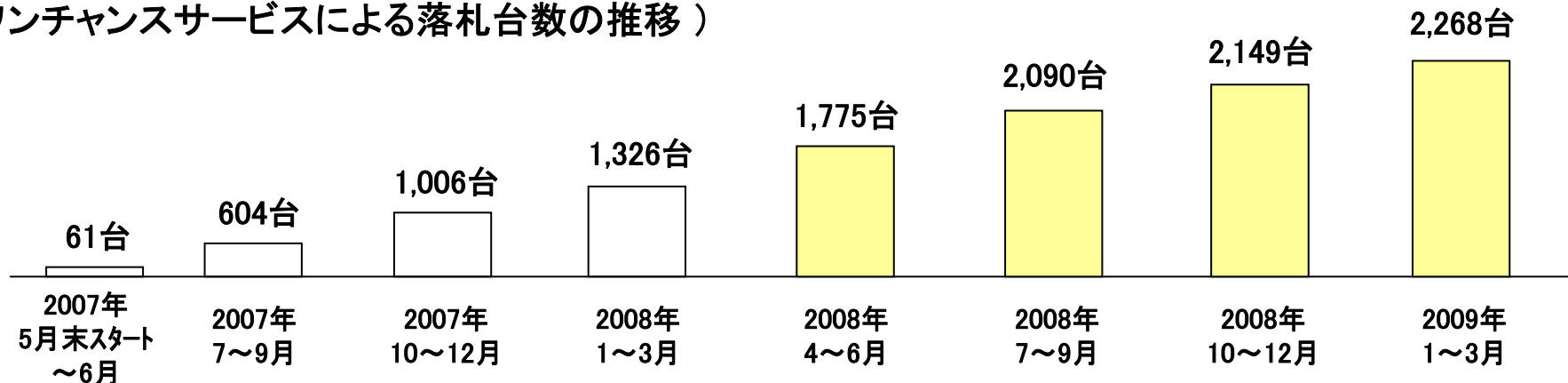
TAA 9会場 (北海道、東北、関東、横浜、中部、近畿、広島、九州、南九州)※、  
ホンダ 6会場 (北海道、仙台、東京、名古屋、関西、福岡)、  
アライ 3会場 (仙台、小山(バントラ含む)、ベイサイド)、  
ZIP 2会場 (東京、大阪)、CAA東北、ヒーロー、SAA浜松、GNN、  
ベイオーク、LAA関西、KCAAえびの

※ TAAについては、開始時期未定

## 9. 直近の取り組み③

### ワンチャンスサービスの利用増加

( ワンチャンスサービスによる落札台数の推移 )



	2009/3期	2008/3期 (07/5末～08/3末)	対比
出品台数	687,844台	578,931台	—
流札台数	357,925台	282,044台	—
WEB掲載台数(流札台数に占める割合)	172,823台(48.3%)	92,377台(32.8%)	(+15.5 pts)
ワンチャンス落札台数(出品台数に占める割合)	8,282台(1.2%)	2,997台(0.5%)	(+0.7 pts)
(掲載台数に占める割合)	(4.8%)	(3.2%)	(+1.6 pts)
ワンチャンスによる出品成約料・落札料(概算)	208百万円	75百万円	+133百万円

※ ワンチャンスサービスの概要 :

一度オークションで流札となった車両に対し、次回オークションへの再出品の前に、車両データ、販売価格等を、当社のWEBサイトへ数日間掲載して、売買を仲介するサービス。2007年5月31日より開始。

## 9. 直近の取り組み④

### 更なるワンチャンスサービスの利用増加に向けて

#### 1. ワンチャンスWEB掲載期間の延長

2009年3月より、再出品に関する事務フローの見直しを行い、ワンチャンスWEB掲載期間を延長。  
葛西会場(+5Hの104H)・つくば会場(+29Hの104H)・HAA神戸会場(+24Hの75H)

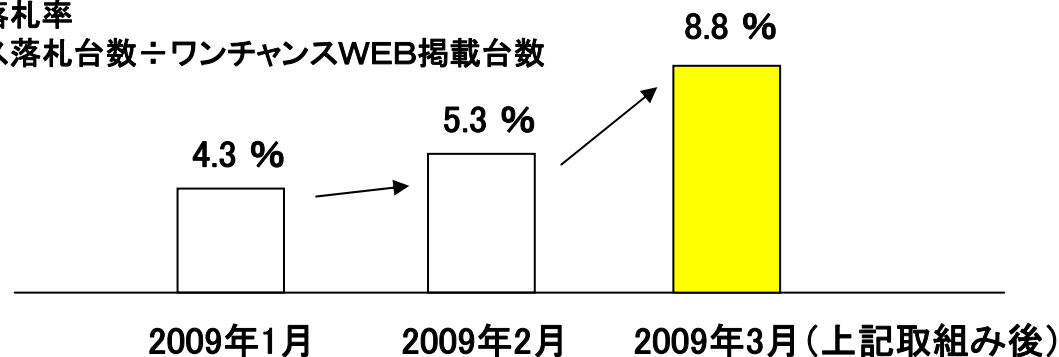
#### 2. (株)オートサーバーとの接続を開始(葛西会場・つくば会場)

2009年3月より、(株)オートサーバーとの業務提携を拡大し、同社のネットワークシステムから、葛西会場、つくば会場のワンチャンスWEB掲載車両の落札を可能とする。

※ HAA神戸会場は従前より接続済

#### (ワンチャンス落札率の推移)

ワンチャンス落札率  
=ワンチャンス落札台数÷ワンチャンスWEB掲載台数



## 10. その他①

### 配当政策について

#### (基本方針)

- ・ 設備投資計画等将来的な資金需要や業績の変動要因を総合的に勘案し、長期的に財務安定性の確保ができることを前提に、継続的に配当を行う。

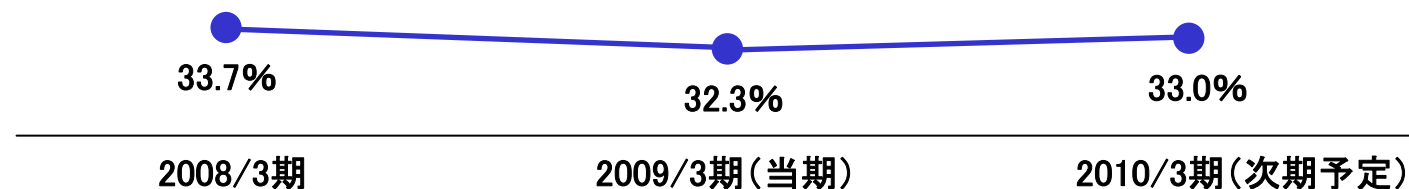
#### (2009/3期)

- ・ 子会社における「のれん償却」が完了したことにより、大幅に増加した連結当期純利益をベースに配当額を設定。
- ・ 2009/3期の1株当たり年間配当は2,000円増配の4,500円にて、連結配当性向は32.3%。
- ・ 利益還元機会の充実化を図るべく、2009/3期より中間配当(1,500円)を開始。

#### (2010/3期)

- ・ 2010/3期の1株当たり年間配当は、連結配当性向33.0%となる3,000円(中間1,000円、期末2,000円)を予定。

#### (連結配当性向の推移)



## 10. その他②

### 自己株式の取得について

資本効率の向上、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策遂行のため、自己株式を取得

取得株式の種類：当社普通株式

取得期間：2008年11月から2009年3月

取得株式総数(発行済み株式総数比率)：3,299株(3.5%)

取得価額総額：392百万円

取得方法：東京証券取引所における市場買付け

(参考) 2009/3末自己株式数(発行済み株式総数比率)：4,202株(4.5%)



# 株式会社ジェイ・エー・エー (証券コード:2394)

〒134-8577 東京都江戸川区臨海町3-2-1

TEL : 03-3878-1176 (代表)

FAX : 03-3878-1178

IR担当 : 経営企画部

URL : <http://www.jaa.co.jp/>

当社ホームページでは、決算短信等の開示資料、月次でのオークション取扱い台数実績等を掲載しております。

## － 本資料取扱い上の注意点 －

本資料には、業績予想等の将来見通しが含まれております。過去実績以外の記述については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。